



地区社協

かみつえ

令和3年 8月1日
第 30 号

上津江地区社会福祉協議会

～ 令和3年度 上津江地区社会福祉協議会定期総会 書面議決 ～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は書面で議決とし、理事35名(全員)より書面表決書をご提出いただきました。議案事項は、すべて可決されました。

2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で地区活動が制限される中、感染症拡大防止対策や工夫・配慮を行いながら地域福祉活動に努めてきました。

3年度も地域住民とのつながりや支えあいを絶やさないように、他団体と連携をとり福祉の町づくりに努めていきたいと思いをします。



〔 会長が交代しました 〕



平成28年4月より5年2カ月間、会長職でご活躍されました、「高橋幸一氏」が健康上の都合により退任いたしました。長い間大変お疲れさまでした。

6月より嶋崎雄児氏が会長に就任されました。

《 会長就任のあいさつ 嶋崎 雄児 》

令和3年6月1日付きで上津江地区社協会長に就任いたしました。

「上津江に住んで本当に良かったと誰もが思える福祉活動」を目指して一生懸命精進しますので、高橋前会長同様宜しくお願い致します。

さて、上津江町は全体人口の減少で高齢化は益々進行している状況です。

したがって福祉政策や活動は、最重要課題であると言っても過言ではありません。

このような中、福祉関連施設が中津江村へ統合移転が行われようとしています。最大の理由は現在建物が立っている診療所、やすらぎ苑の場所が土砂災害警戒区域にあるという事です。

しかし広川地区では、すでによう壁やストンガードを設置する等の対策は行っています。危険だから移転ではなく、それ相応の調査と対策をして今の場所へそれぞれの施設は、残すべきと思っています。

既にやすらぎ苑と安寿苑の統合は、お風呂の故障等で昨年4月におこなわれているのですから、新たな建設は、地区民の調整も建設費用も格段に安価であると思われる。

上津江に住む私たちが将来、安心して暮らせる地域づくりが望まれている中での今回の統合移転問題。このまま町内から福祉施設を失くしてしまっても良いのか。いま重大な岐路に立っています。

診療所は町内移転の方向です。いずれの施設にしても町民の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。今後とも地域福祉・地区社協の活動にご支援、ご協力を切にお願いいたします。

令和2年度収支決算書報告

〔収入の部〕

日田市社協助成金	246,400円
日田市共同募金助成金	65,000円
寄付金	30,050円
雑収入	11円
繰越金	1,125,648円
合計	1,467,109円



〔支出の部〕

ふれあい交流会	23,207円	配食サービス
歳末助け合い事業	79,755円	65名対象
ふれあいサロン活動費	140,000円	18回実施 407名参加
子育てサロン	25,285円	2回実施 43名参加
ボランティア活動費	20,000円	道路沿い空き缶・ゴミ拾い
福祉員活動費	55,000円	11名
事務・庶務費	108,502円	事務費・旅費・地区社協だより(年2回)
報酬費	60,000円	役員手当
予備費	76,975円	感染予防対策(マスク・消毒液配布) 一人暮らし高齢者・園児・小学生・中学生にマスク配布 訪問時に感染防止用 福祉員に消毒液配布
合計	588,624円	



令和3年度 赤い羽根共同募金地域助成事業

日田市共同募金委員会から地域福祉の向上を目的として、福祉活動に要する経費の助成を受けました。

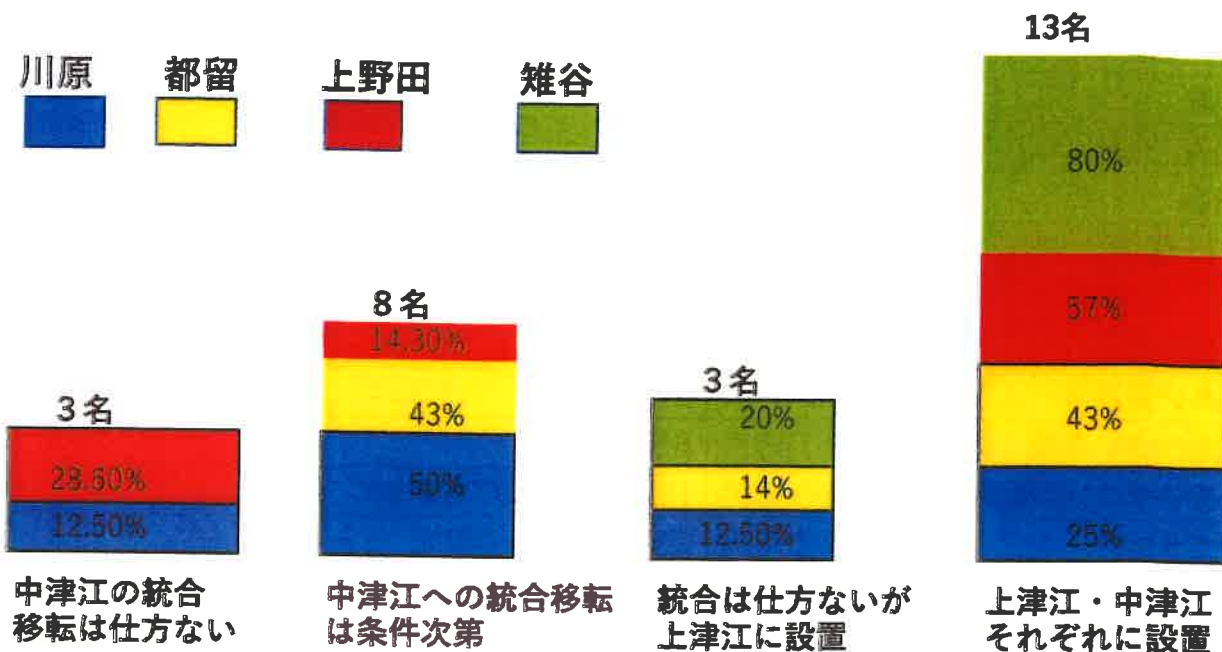
助成品は、福祉活動(ミニディサービス・ふれあい交流会、子どもサロン・会議等)に必要な マイク付き CD ラジカセ4台と炊飯器です。

歌やレクリエーション等で活用し、参加されたみな様を楽しませたいと思います。

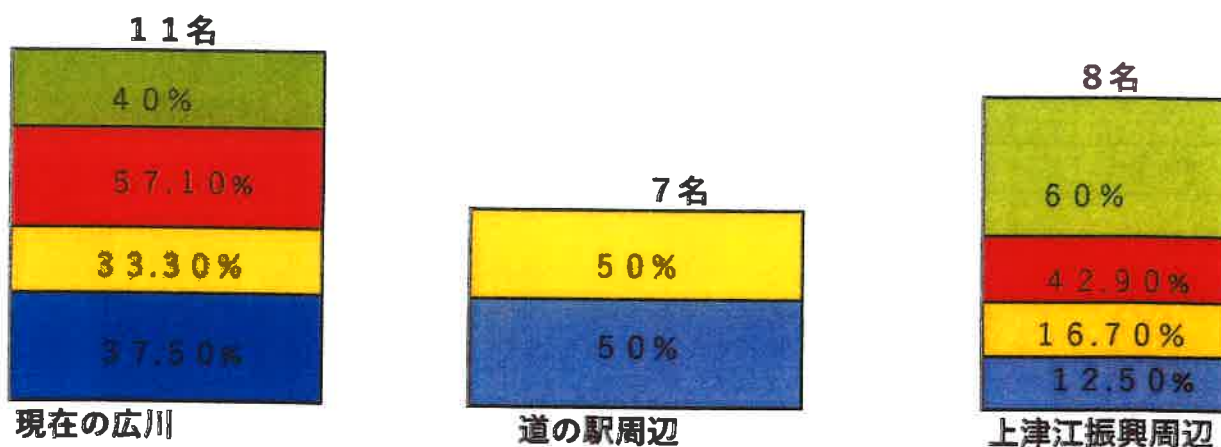


【アンケートの結果】 アンケート調査 33名 回収数 26名 回収率79%

(1) 高齢者福祉施設の総合移転についてどう思うか



(2) 診療所を建設する場合はどこが良いか



(3) 危険区域について

現在建っている場所で安全点検を行ったうえで現在の場所で整備する。(17名の意見)
 老朽化や使い勝手等を検討したうえで今の場所がよい。(高齢者施設・こども園・診療所)

(4) 今後の上津江町の福祉事業について

- ① 移動手段の充実 デマンドバスの継続等
- ② 高齢化増になり地域の支援・民生委員・福祉員等の確保が困難になりそうです。
- ③ 独居老人になったときでも上津江で住み続けていける施設の確保
- ④ 中津江と統合したときの地区社協の存続は
- ⑤ 10年先を考えると不安。上津江のことを思って動いている人に感謝。
- ⑥ 規模の小さい施設でも町村に1つは必要。人口減少にもつながるのでは
- ⑦ その他貴重なご意見をたくさんいただきました。

福祉委員紹介

令和3年4月1日「福祉委員」が決定

自治会より推薦された11名の方をご紹介します。

	氏名	担当地区名
1	河津 さゆり	小竹・官谷・都留・程野
2	秋好 洋子	笹野・白草
3	安岡 成美	葉迫・畑中
4	矢野 小夜子	葛・小平上・小平本
5	古閑 洋子	小川原・吉ノ本
6	竹村 幸子	若林・片仁田
7	梶原 昭子	広川・幸又・永野・豆生野
8	田邊 恵美	吉井・川原中央・元組
9	嶋崎 貞子	福島・浦・甫手野・山中・手水野
10	伊東 ゆり	西雉谷・中雉谷
11	佐藤 あ津子	東雉谷・南雉谷・上雉谷



「福祉員」とは、近隣住民と一緒に「生活・福祉課題(困りごと)」の解決に向けて取り組んでいただく地域のボランティアとして、日田市社会福祉協議会が委嘱しています。
お困りごとがありましたら遠慮なくご相談ください。

理事全体会開催される



7月2日上津江振興局において「地区社協理事全体会」が開催されました。
コロナウイルス感染予防の関係で総会も2年続けて書面議決となりましたので、久々に理事一同で会議を開催できました。(35名中31名の方が出席)

① 今後の事業計画の持ち方について ② 事務・会計業務の住民自治の移行について

③ 見守りネットワーク表の配布について

見守りを必要とする方の同意や協力員に届ける注意点等の説明

町内74名方の「見守りネットワーク表」が地区の方にご協力いただき作成できました。

後日、地区の協力員の方に「見守りネットワーク表」を民生委員・福祉員がお届けしました。

④ 福祉施設移転整備について

嶋崎会長が平成31年1月から今日(令和3年6月29日)までの経過報告を説明。

上津江振興協議会委員と日田市の協議内容について細かく説明

地区社協としての意見集約が必要である事から「アンケート」を理事にお願いしました。

集計結果は、次のようです。